

事業報告附属明細書（事業別報告）

法人運営事業

法人運営事業（65,525,313円）

（1）主な収支状況

市補助金（運営補助金）	53,983,000円（収）
会費（団体会員56件、個人会員1,145件、賛助会員22件）	533,500円（収）
バナー広告掲載料	15,000円（収）
ホームヘルプサービス事業から繰入	2,450,000円（収）
共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	2,477,642円（収）
法人後見事業から繰入	342,788円（収）
一般職員、嘱託職員等人件費	62,482,761円（支）
事務所使用料	365,915円（支）
（別に、他の事業から支出。事務所使用料の総金額は2,927,319円）	
社協だより「いきいき」発行費	455,070円（支）
（別に、他の事業から支出。社協だより発行費の総金額は2,275,350円）	
給与明細配信システム導入費用	141,240円（支）
その他法人運営にかかる事務費等	2,080,327円（支）

（2）職員構成（令和7年3月31日現在）

▽部署別

部署名	人数
常務理事	1
事務局長兼センター長	1
事務局次長	2
センター次長	1
総務係	2
地域福祉係	3
生活支援係（ヘルパー、生活支援員を含む）	37
地域包括支援センター	13
合計	60

▽区分別

区分名	人数
市派遣職員	1
一般職員	15
嘱託職員	12
非常勤職員	32
合計	60

（3）会員加入状況

区分	加入数	会費（年額）
個人会員	1,145名	300円
団体会員	56団体	3,000円
賛助会員	22件	1口 1,000円

(4) 固定資産物品取得状況

▽固定資産物品取得件数 0件

(5) 物品貸出状況

貸出物品	貸出数量	貸出物品	貸出数量
車いす	290	白杖	15
高齢者疑似体験グッズ	7	楽器セット	0
視覚障がい者疑似体験キット	0	モルック	8
アイマスク	20	プロジェクター	16
点字器	50	ワイヤレスアンプ	3

(6) 情報公開・個人情報保護の状況

▽情報公開請求件数 0件

▽保有個人データの開示等請求件数 0件

▽個人データの第三者提供件数 1件（法人後見事業1件）

(7) 苦情受付状況

▽苦情受付件数 0件

(8) 監査・調査状況

監査・調査名	実施日	実施者
地域包括支援センター事業評価	5月9日	橿原市福祉部長寿介護課
労働条件に関する調査	5月13日	葛城労働基準監督署
福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）書類等預かりサービスの現地調査	12月13日	奈良県運営適正化委員会
令和6年度社会福祉法に基づく指導監査	12月26日	橿原市福祉部福祉総務課

(9) 研修生・実習生等受入状況

▽研修生・実習生等受入件数 0件

(10) 後援等の状況

▽後援

催名	主催	日程
全国障害者問題研究会第58回大会奈良2024	全国障害者問題研究会	令和6年8月3日、4日
人生100年時代をいきいき過ごすセミナー	一般社団法人奈良県健康生きがづくり協議会	令和6年9月14日、21日、28日
第6回橿原地区医師会市民公開講座～認知症とフレイルを考える～	一般社団法人橿原地区医師会	令和6年10月19日
第21回高齢者・障がい者権利擁護の集い	日本弁護士連合会、奈良弁護士会、近畿弁護士連合会	令和6年11月29日
令和6年度第45回奈良県保育研究大会	奈良県保育協議会	令和6年12月7日
わたぼうしコンサート	橿原市身体障害者福祉協会	令和6年12月7日
講演会「認知症のある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために」	橿原市地域包括ケアシステム連絡会	令和7年1月28日

令和6年度奈良県児童福祉施設連盟第27回音楽交流会 “アート・コミュニケーション” 2025	奈良県児童福祉施設連盟	令和7年2月15日
おしゃべりサロン「えがお」	傾聴ボランティアえがお	令和7年4月15日、5月15日、6月15日、7月15日、9月15日、10月15日、11月15日、12月15日、令和8年1月15日、2月15日、3月15日
きょうされん第48回全国大会 in 奈良	きょうされん	令和7年10月17日、18日

▽全国社会福祉協議会「福祉救援活動資金援助制度」への拠金 20,000円

(11) 令和6年能登半島地震の復興支援活動

▽義援金活動状況

内 容	金額
令和6年能登半島地震災害義援金の受付(4月1日～9月30日、11月24日)	4,294円

(12) その他

▽社協だより「いきいき」の発行

第73号(令和6年7月)、第74号(令和6年10月)、第75号(令和7年1月)、第76号(令和7年4月)を発行(「広報かしはら」に折込)する。

▽ホームページやSNSによる情報発信

社協ホームページ <https://kashi-syakyou.or.jp/>

社協Instagram kashiharasyakyou

▽一般職員採用試験の実施

令和6年7月1日採用に向けて介護福祉士1名を再募集する。(採用者1名)

第1次試験日 3月23日～4月3日

第2次試験日 5月15日

▽職場内研修の実施

ハラスメント研修(動画研修(6月28日～7月19日))

男女共同参画職員研修・人権問題研修(動画研修(7月3日～7月31日))

接遇・クレーム対応研修(動画研修(11月27日～12月27日))

安全運転講習(動画研修(1月14日～1月31日))

▽奈良県いっせい地震行動訓練に参加(7月9日)

▽消防訓練の実施

消防訓練(消火訓練)の実施(8月28日)

消防訓練(避難訓練)の実施(2月19日)

▽健康診断の実施

ストレスチェック(9月17日～9月30日)27名受検

VDT健康診断(11月21日)5名受診

定期健康診断(1月15日)51名受診

▽感謝状の贈呈

社会福祉の増進に尽力し、その功績が顕著な社協会員等に感謝状を贈呈する。

感謝状贈呈日 11月3日

感謝状被贈呈者 43名、3団体

▽第1次中期経営計画（令和7年度～令和10年度）の策定（3月）

社協の経営の持続化と安定化を図っていくため、社協の使命や理念、基本方針等を明確にし、その実現に向けた組織体制、人材、財務、事業展開等に関する取組を明示した「橿原市社会福祉協議会第1次中期経営計画」を策定する。

役員会等事業（121,655円）

（1）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入 121,655円（収）

理事会・評議員会等の開催にかかる事務費 121,655円（支）

（2）理事会・評議員会・運営委員会開催状況

区 分	回数	議案件数	延出席者数
社会福祉協議会理事会（決議の省略を含む）	5	21	72 （監事含む）
社会福祉協議会評議員会（決議の省略を含む）	3	6	40 （理事・監事含む）
橿原市共同募金委員会運営委員会	2	2	28 （監事含む）

（3）委員会等開催状況

区 分	回数	延出席者数
社会福祉協議会監査	1	3
評議員選任・解任委員会（決議の省略を含む）	2	9
職員採用試験委員会	2	7
感謝状贈呈審査委員会	1	4
職員衛生委員会	2	16
感染対策委員会	2	14
虐待防止検討委員会	1	8
身体拘束適正化検討委員会	1	8
橿原市共同募金委員会監査	1	3
橿原市共同募金委員会審査委員会	2	22

※監査及び評議員選任・解任委員会については、出席理事数を含む。

（4）役員等研修状況

▽理事・監事・評議員合同研修会

開催日	内 容	参加者数
9月30日	(第1部) 講演 知って安心！成年後見制度 講師 原田司法書士事務所 代表 <small>はらだとしのり</small> 原田敏徳 氏 (第2部) 講演 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を目指して 講師 橿原市世界遺産登録推進課 課長補佐 <small>よこせきあきよ</small> 横関明世 氏	25

地域福祉活動支援事業

地域福祉活動支援事業（17,123,659円）

（1）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	653,242円（収）
共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	1,912,172円（収）
善意銀行運営事業から繰入	814,414円（収）
地域福祉基金運営事業から繰入	1,585,869円（収）
地域活動積立資産の取崩	8,000,000円（収）
小学校区地域福祉推進委員会への助成金	4,065,414円（支）
事務所使用料	73,183円（支）
広報・啓発費用	455,070円（支）
その他地域福祉推進のための事業費・事務費	300,772円（支）
公益事業（介護予防支援事業）に繰出	12,229,220円（支）

（2）各小学校区地域福祉推進委員会活動の支援

▽各小学校区において地域福祉活動の中心となり、その充実が檀原市における地域福祉の発展に寄与することから、地域福祉推進委員会の運営及び活動に対して助成し、支援する。また、地域住民同士がつながり、支え合い、助け合うことができるよう、地域の交流を促進するとともに、その参加者から次世代の担い手の育成を図る。

▽地域福祉推進委員会と自治会、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を進めながら、日々の生活の中で異変に気付いた場合に、関係団体や専門機関に相談・連絡するといった“緩やかな見守り”を推進する。

▽より多くの住民の関心を高めるとともに、次世代の担い手の発掘と育成を図るため、地域福祉推進委員会の情報発信力の向上を支援する。

地域福祉推進委員会スキルアップ講座実施状況

開催日	内 容	参加者数
11月30日	内容 集まる楽しいチラシの作り方 講師 グラフィックデザイナー すぎいえりあ 杉井江里亜 氏	28

（3）市地域福祉推進連絡協議会との連携

▽市内15小学校区の地域福祉推進委員会等で組織する市地域福祉推進連絡協議会との連携により、校区間の情報の共有を図り、地域福祉ネットワークを構築する。

檀原市地域福祉推進連絡協議会実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月18日	議題 （1）檀原市地域福祉推進連絡協議会規約の一部改正（案）について （2）役員を選任について （3）令和5年度事業報告及び収支決算について （4）令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について	18

2月26日	研修会 みんなで助け合い・支え合える地域づくりについて ～第5期地域福祉推進計画の目標達成に向けた手法・取組～ 講師 天理大学人文学部社会福祉学科 教授 <small>わたなべかずくに</small> 渡辺一城 氏 情報交換会 地域福祉活動の実践報告について	27
-------	--	----

(4) コミュニティ自動車の貸与

▽地域福祉推進委員会が実施する活動や取組等への利用者の送迎のため、社協の車両をコミュニティ自動車として貸与する。

利用状況

車種	貸与団体数	貸与日数	延利用者数
キャラバン（10人乗り）	3	63	1,040

(5) 出前講座実施状況

▽地域福祉の周知啓発を図るため、出前講座を開催する。

開催日	テーマ	対象者	参加者数
4月26日	つながり・支え合う地域づくり	鴨公まほろばふれあいサロン	36

見守り活動支援事業

見守り活動支援事業（1,438,886円）

▽見守り活動支援事業

住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、民生委員・児童委員が実施する一人暮らし高齢者等の見守りや安否確認等を目的とした見守り活動を支援する。

実施団体数 6団体 利用者数 1,655名 延利用者数 19,702名

▽ふれあい電話訪問サービス事業

高齢者に対し、ふれあい（話し相手や見守り等）のため、ボランティアによる電話訪問を行う。

実施日 火曜日（午前10時～午後3時）、金曜日（午前10時～正午）※第5週目を除く

登録ボランティア数 17名 協力ボランティア数 延366名

利用者数 42名 電話訪問件数 延1,548件

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	1,430,886円〈収〉
善意銀行運営事業から繰入	8,000円〈収〉
見守り活動にかかる事業費	1,430,886円〈支〉
ふれあい電話訪問サービスにかかる事業費	8,000円〈支〉

ふれあいサロン事業

ふれあいサロン事業（4,762,233円）

▽住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、65歳以上の人を対象に、地区公民館等で体操や手芸などをメニューとした住民主体のサロン活動を支援し、閉じこもりや心身機能の低下、要介護状態等への進行を予防する。

(1) 主な収支状況

市受託金	4,762,233円〈収〉
ふれあいサロン活動のための助成金	4,280,097円〈支〉

広報・啓発費用

227,535円〈支〉

その他事務費

254,601円〈支〉

(2) ふれあいサロン実施状況 (於：各地区公民館等)

地区名	名 称	回数	延利用者数	開催日時
真 菅	ますげいなほ会	25	509	第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時30分
今 井	今井校区ふれあいサロン	22	400	第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時30分
新 沢	新沢地区ふれあいサロン	20	380	第2・第4火曜日 午後1時～午後3時
香久山	香久山地区ふれあいサロン	36	1,014	第1・第3・第4土曜日 午後1時～午後3時
晩 成	晩成ふれあいサロン	38	1,495	木曜日(第5木曜日を除く) 午後1時30分～午後3時30分
畝傍南	畝傍南ふれあいサロン	21	802	第2・第4水曜日 午後1時30分～午後4時
畝傍北	畝傍北ふれあいサロン	22	992	第1・第3木曜日 午後1時30分～午後4時
白 櫃	サロンしらかし広場	41	1,776	火曜日(第5火曜日を除く) 午後1時～午後3時
耳 成	ふれあいサロン耳成	17	557	月1回開催 開催ごとに異なる
耳成南	耳成南ふれあいサロン ～イトヤキ会～	22	778	第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時30分
真菅北	真菅北ひまわりサロン	23	692	第2・第4火曜日 午後1時30分～午後3時30分
鴨 公	鴨公まほろばふれあい サロン	20	511	第2・第4金曜日 午前10時～正午
合 計		307	9,906	

(3) ふれあいサロンネットワーク会議実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月1日	令和6年度ふれあいサロン事業について ふれあいサロンカフェ～聴いて、話して、つながろう～	28
2月17日	サロンカフェ実施地区より実践報告 「ふれあいサロン専用LINE」の登録及び活用について 意見交換会	23

生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業(1,771,000円)

(1) 主な収支状況

市受託金

1,771,000円〈収〉

人件費

1,679,468円〈支〉

広報・啓発費用

56,883円〈支〉

生活支援サービスの体制づくりのための事業費

34,649円〈支〉

(2) 生活支援体制整備事業（第1層）

▽かしはら街の介護相談室（第2層）及び地域包括支援センター（第2層）の生活支援コーディネーターとの連携を図り、地域の現状や課題を地域住民や関係団体等と共有するとともに、解決に向けた話し合いのため、日常生活圏域で開催される「生活支援地域ケア会議」に参加する。

実施状況

名 称	回数	延参加者数	備 考
生活支援地域ケア会議	30	434	かしはら街の介護相談室・地域包括支援センター開催

※生活支援体制整備事業（第2層）は、令和6年10月1日に、かしはら街の介護相談室から地域包括支援センターに移行

▽地域包括支援センター（第2層）の生活支援コーディネーターとの連携を図り、高齢者にとって日常生活に役立つ地域資源に関する情報を整理したリストやマップを作成・更新し、地域住民への周知や活用促進を図る。

- ・買い物支援サービス実施店
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗

ボランティア推進事業

ボランティア推進事業（1,633,336円）

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	371,429円（収）
ボランティア活動保険加入	989,150円（収）
ボランティア活動保険掛金	989,150円（支）
南都・松下等基金積立金ボランティア活動助成金	194,700円（支）
広報・啓発費用	227,535円（支）
その他事業費・事務費	221,951円（支）

(2) 災害ボランティアセンターの取組状況

▽「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に基づき、災害発生時にセンターの円滑な設置ができるよう、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施する。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施状況

開催日	内 容	参加者数
10月20日	大規模地震の発生を想定した訓練	56

▽災害ボランティアセンターの周知啓発を図るため、「橿原市・橿原市自治委員連合会合同防災訓練」に参加する。

実施状況

開催日	内 容	場 所
11月24日	災害ボランティアセンターの啓発パネル展示	橿原運動公園

(3) 福祉教育の推進

▽小・中・高等学校に対する出前講座の実施や、児童・生徒によるボランティア活動の実践を通じて福祉教育を推進することにより、社会福祉への理解と関心を深める。

(4) 保険取扱状況

加入状況

保険種別	件数	加入者数	金額 (円)
ボランティア活動保険	203	2,641	989,150
ボランティア行事用保険	210	9,746	279,594
福祉サービス総合補償	3	延367	15,607
送迎サービス補償	—	—	—
社協の保険	1	25	313,996
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	8	延7,948	214,596
合 計	425		1,812,943

事故発生状況

保険種別	件数	事故内容
ボランティア活動保険	3	けが3件
ボランティア行事用保険	1	けが1件
合 計	4	

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業 (9,508,026円)

▽歳末施設訪問

地域歳末たすけあい助成金、善意銀行への指定寄付及び障がい者等支援基金積立資産の一部を財源に、市内高齢者施設及び障がい者施設に歳末見舞金として配分する。また、配分先の施設の利用者に対し、年末のご挨拶として動画メッセージを送付する。

歳末見舞金

	施設名	配分額 (円)
高齢者施設	榎原園	70,000
	かなほし苑	70,000
	桃寿園	70,000
	香久山インパレス	70,000
	榎原の郷	70,000
	ぼれぼれケアセンター白檀	35,000
	バンデ (絆)	70,000
	花檀	35,000
	リンク榎原	35,000
	ケアステージみみなし	35,000
	万葉テラス	35,000
	大和三山	35,000
	鷺栖の里	35,000
障がい者施設	あさひの	50,000
	たけのこ園	50,000
	友の室	50,000
	ステップあすか	50,000
	生活支援センターはるかぜ	50,000
	スクラム	50,000
合 計		965,000

※地域歳末たすけあい助成金515,000円、善意銀行への指定寄付433,738円、障がい者等支援基金積立資産16,262円を活用

(1) 主な収支状況

地域助成金	5,649,968円 (収)
地域歳末たすけあい助成金	3,858,058円 (収)
地域助成金の配分 (自治会、民協等)	2,026,000円 (支)
歳末見舞金として配分	515,000円 (支)
各事業に地域助成金の繰出	3,623,968円 (支)
各事業に地域歳末たすけあい助成金の繰出	3,343,058円 (支)

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業 (3,690,000円)

▽生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支え、在宅福祉の充実や社会参加の促進を図ることを目的に、生活福祉資金の相談や貸付を行う。

(1) 主な収支状況

県社協受託金	3,690,000円 (収)
内訳 生活福祉資金貸付等事務受託金	3,670,000円
臨時特例つなぎ資金貸付等事務受託金	20,000円
人件費	2,369,750円 (支)
民生委員への生活福祉資金活動費用弁償	315,000円 (支)
事務所使用料	292,732円 (支)
広報・啓発費用	113,768円 (支)
非常通報装置の設置	62,040円 (支)
その他事務費	536,710円 (支)

(2) 生活福祉資金相談状況

相談件数 245件

内訳 総合支援資金5件 (生活支援費5件、住宅入居費0件、一時生活再建費0件)、
教育支援資金25件、福祉資金44件、不動産担保型生活資金2件、
緊急小口資金64件、臨時特例つなぎ資金2件、その他103件

(3) 生活福祉資金貸付状況

資金種別	件数	貸付金額 (円)
1. 生活支援費	—	—
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	10	5,339,000
5. 福祉資金	4	511,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	31	2,632,000
8. 臨時特例つなぎ資金	2	200,000
合計	47	8,682,000

▽奈良県フードレスキュー事業

生活に窮迫した相談者に対して、寄り添い、安心・安定した生活に向けた相談支援につなげていけるよう、一時的に食料品の提供を行う。

利用者数 1名

支援食品数 23個（レトルトご飯、缶詰、レトルトカレー、インスタントみそ汁）

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業（1,571,468円）

（1）主な収支状況

寄付金	532,034円（収）
歳末見舞金の一部として払出し	433,738円（支）
子どもの発達支援のため払出し	315,316円（支）
前年度の寄付金を目的に沿って各事業に繰出	822,414円（支）

（2）善意銀行運営状況

区分	事項	件数	金額（円）	
収入の部	1. 一般寄付	44	371,034	
	2. 指定寄付		15	161,000
		(1) 地域福祉のために	7	4,000
	(2) 障がい者のために	8	157,000	
	3. 受取利息		907	
	4. 前年度からの繰越金		1,571,468	
合計（A）			2,104,409	
支出の部	1. 歳末見舞金の一部として払出		433,738	
	2. 子どもの発達支援のため払出		315,316	
	3. 各事業に払出		822,414	
		(1) 地域福祉活動支援事業		814,414
	(2) 見守り活動支援事業		8,000	
合計（B）			1,571,468	
差引合計（A）－（B）			532,941	

※差引合計532,941円については、令和7年度へ繰越

地域福祉基金運営事業

地域福祉基金運営事業（1,585,869円）

（1）主な収支状況

地域福祉基金積立資産の運用利息	85,869円（収）
地域福祉基金積立資産の取崩	1,500,000円（収）
地域福祉活動支援事業に繰出	1,585,869円（支）

（2）地域福祉基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	93,623,652	0	31,500,000	62,123,652
国債	0	30,000,000	0	30,000,000
合計	93,623,652	30,000,000	31,500,000	92,123,652

障がい者等支援基金運営事業

障がい者等支援基金運営事業（274,262円）

（1）主な収支状況

障がい者等支援基金積立資産の取崩	250,000円（収）
障がい者等地域活動団体への助成金	258,000円（支）
歳末見舞金の一部として助成	16,262円（支）

（2）障がい者等支援基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	28,190,000	0	250,000	27,940,000
合計	28,190,000	0	250,000	27,940,000

（3）障がい者等地域活動団体の支援

▽障がい者団体の地域における事業活動やその運営に対して助成し、支援する。

団体名	助成事業の内容	助成金額（円）
アンクルン音楽クラブ con brio	障害児・者の音楽余暇活動	85,000
スノーキャンパス	発達障害・知的障害のある子どもの余暇支援	100,000
高齢聴覚障がい者の集い「すみれの会」	高齢聴覚障がい者の交流・ふれあい	73,000

法人後見事業

法人後見事業（570,000円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な人に対し、社協が成年後見人等となり、成年被後見人等の財産管理や身上保護を行い、その権利を擁護する。

（1）主な収支状況

成年後見人等報酬費用助成金	570,000円（収）
広報・啓発費用	113,768円（支）
権利擁護・成年後見システム利用料	91,960円（支）
その他事業費・事務費	21,484円（支）
法人運営事業に繰出	342,788円（支）

（2）実施状況

受任件数	2件（後見2件、保佐0件、補助0件）（令和7年3月31日現在）
受任状況	新規件数 0件
	終了件数 0件

相談状況

内 容	件数
成年後見制度について	3
申立て等について	0
合 計	3

(3) 成年後見講座実施状況

▽地域住民等への啓発の場として、成年後見制度に関する理解を深めてもらうための講座を開催する。

開催日	内 容	参加者数
11月21日	内容 成年後見制度の概要とその利用例について 講師 法テラス南和法律事務所 弁護士・社会福祉士 <small>おのおのくにあき</small> 大野邦明 氏	20

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業（1,541,160円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な人の権利を擁護するとともに、福祉サービスの利用援助や日常生活の相談、金銭管理などの援助を行うことで、地域で安心して生活ができるよう支援する。

(1) 主な収支状況

県社協受託金	1,209,000円〈収〉
利用者負担金	332,160円〈収〉
嘱託職員、生活支援員人件費	819,198円〈支〉
広報・啓発費用	227,535円〈支〉
権利擁護・成年後見システム利用料	183,920円〈支〉
その他事業費・事務費	310,507円〈支〉

(2) 実施状況

契約者数	28名（令和7年3月31日現在）
契約状況	新規件数 6件 終了件数 8件
支援時間数	388時間
相談援助件数（利用者に関する相談）	377件

相談状況

内 容	件数
制度・事業について	2
初回相談	8
合 計	10

訪問介護事業

訪問介護事業（27,359,169円）

▽要介護者へのホームヘルプサービス

要介護状態にある高齢者等（利用者）が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

▽要支援者へのホームヘルプサービス

要支援状態にある高齢者等（利用者）が可能な限りその居宅において、要支援状態の維持・改善と、

要介護状態への予防をし、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	14,618,345円 (収)
総合事業収入	7,544,521円 (収)
利用者負担金 (要介護)	1,652,945円 (収)
利用者負担金 (要支援)	958,755円 (収)
障害福祉サービス事業から繰入	2,329,073円 (収)
一般職員、嘱託職員、ヘルパー人件費	25,433,540円 (支)
事務所使用料	292,732円 (支)
広報・啓発費用	113,768円 (支)
訪問介護システム利用料	92,400円 (支)
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	1,426,729円 (支)

(2) サービス提供 (訪問介護) 状況

	活動者数	利用者数	生活援助 (時間)	身体生活 (時間)	身体介護 (時間)
4月	25	33	180.5	204	98.5
5月	24	32	194.5	181.5	119.5
6月	24	34	156.5	159	108
7月	21	30	125	185.5	123
8月	20	29	122.5	183	104.5
9月	19	25	67	179.5	101.5
10月	19	27	83.5	201	128.5
11月	18	27	65	169.5	116
12月	17	26	74.5	171.5	112.5
1月	18	26	70.5	166.5	109
2月	18	26	72.5	145	95
3月	18	26	66.5	139.5	101
合計	241	341	1,278.5	2,085.5	1,317

(3) サービス提供 (第一号訪問) 状況

	活動者数	利用者数	活動時間 (時間)
4月	24	40	199
5月	23	40	203
6月	24	42	178.5
7月	24	40	198
8月	24	41	186.5
9月	24	42	199
10月	24	43	221.5
11月	24	42	196
12月	21	43	189
1月	22	44	195.5
2月	21	43	193.5
3月	22	41	196.5
合計	277	501	2,356

(4) ヘルパー定例会（研修）実施状況

▽サービスの質の向上と社協職員としての資質の向上を目的に実施する。

開催日	内 容	参加者数
9月19日	感染症に対する研修	11
12月19日	介護技術向上研修、感染症対策訓練	9
3月21日	雇用更新、ヒヤリハット報告について、BCP（業務継続計画）研修・訓練	8

障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業（13,880,203円）

▽障がい者（児）へのホームヘルプサービス

- ①居宅介護事業 障がい者の居宅において、身体介護や家事援助、生活上の相談を行うほか、通院時に必要な介助を行う。
- ②重度訪問介護事業 重度の肢体不自由者で、常時介護を必要とする人の身体介護や家事援助、移動の介護、見守り等生活全般を支援する。
- ③同行援護事業 視覚障がい者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行う。

(1) 主な収支状況

居宅介護給付費収入	9,213,038円〈収〉
重度訪問介護給付費収入	504,786円〈収〉
同行援護給付費収入	4,066,189円〈収〉
利用者負担金	190,005円〈収〉
ヘルパー人件費	8,457,669円〈支〉
事務所使用料	292,732円〈支〉
広報・啓発費用	56,883円〈支〉
障害福祉システム利用料	132,000円〈支〉
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	211,846円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	2,400,000円〈支〉
訪問介護事業に繰出	2,329,073円〈支〉

(2) サービス提供状況

	活動者数	利用者数	身体介護 (時間)	家事援助 (時間)	通院介助 (時間)		重度訪問 介護 (時間)	同行援護 (時間) ※介護を 伴わない
					※介護を 伴わない	※介護を 伴う		
4月	21	27	0	284	7.5	4	14	102
5月	20	26	0	272.5	6	3.5	12	88
6月	21	26	21	231.5	4.5	0	16	95
7月	21	24	25	244.5	6	0	25	91
8月	19	26	31.5	249.5	6.5	5.5	17	72
9月	20	29	29.5	277	7	9	19	107
10月	20	32	32	284.5	7	3	27	88.5
11月	20	31	28.5	282.5	6.5	2.5	18	104
12月	19	32	25.5	254	9	0	25.5	106.5

1月	21	29	27	262	6	0	10	86.5
2月	19	29	25.5	242.5	3	2.5	8	89
3月	19	30	26.5	281	3.5	1	10	98
合計	240	341	272	3,165.5	72.5	31	201.5	1,127.5

移動支援事業

移動支援事業（1,152,874円）

▽移動支援事業の受託

障がい者（児）が安心して社会活動に参加できるよう移動支援サービスを提供する。

（1）主な収支状況

市受託金	1,171,815円（収）
利用者負担金	22,585円（収）
ヘルパー人件費	749,156円（支）
障がい者（児）の外出援助のための事業費・事務費	353,718円（支）
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	50,000円（支）

（2）サービス提供状況

	活動者数	利用者数	移動支援単独保障型 (時間)	移動支援単独補助型 (時間)	移動支援単独介護型 (時間)
4月	7	6	23.5	7.5	11
5月	7	6	24	8	12
6月	8	6	22	8	10.5
7月	7	6	30	7	7.5
8月	6	5	22.5	5	12
9月	5	6	24	6	9.5
10月	5	6	27	6	11.5
11月	6	6	25.5	6.5	10.5
12月	7	7	23	7.5	13.5
1月	4	5	25.5	7	10.5
2月	6	5	19.5	4.5	10
3月	6	6	23	8	12.5
合計	74	70	289.5	81	131

包括的支援事業

包括的支援事業（77,027,454円）

▽地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

▽地域包括支援センター（南圏域）に保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、それぞれが連携を図ることにより、地域で暮らす高齢者の介護・福祉・健康・医療など様々な悩み・疑問・相談ごとに総合的に対応する。

（1）主な収支状況

市受託金	70,470,000円（収）
介護予防支援事業から繰入	6,387,454円（収）
一般職員、嘱託職員人件費	53,729,349円（支）

かしはら街の介護相談室委託費	18,000,000円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	996,460円〈支〉
事務所使用料	1,170,927円〈支〉
広報・啓発費用	227,535円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
地域包括支援センター受託（南圏域）に伴う体制整備費用	1,112,100円〈支〉
その他地域包括支援センター運営にかかる事業費・事務費	1,686,183円〈支〉

※市受託金のうち人件費にかかる精算については、協議のうえ返金が必要となる場合は、令和7年度市受託金から返金する。

（２）総合相談支援業務

▽地域における高齢者の総合相談窓口として、かしはら街の介護相談室との連携を図り、24時間365日相談が可能な体制を整備し、対応する。

相談状況

区 分	件数
介護保険	1,211
認知症	1,075
虐待	228
病気	42
医療	90
家族	13
権利擁護	49
生活資金	11
介護予防	8
日常生活	171
ケアマネ支援	12
その他	20
合 計	2,930

※認知症の件数には、後述の認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームの相談件数を含む。

▽高齢期を安心して過ごすための相談支援体制を構築するため、地域住民を対象に地域の課題やニーズに合わせた教室を開催する。

地域の教室実施状況

開催日	内 容	対象者	参加者数
7月12日	地域包括支援センター南エリア及びかしはら街の介護相談室の周知・啓発 他	檀原団地住民	4
11月16日	口腔ケアから始める健康づくり 他	檀原団地住民 「おしゃべり会」参加者	28
12月13日	地域の高齢者の相談状況について 他	金橋地区民生委員・児童委員	17
1月8日	「認知症講座」～知って・学んで・生かすことができるように～	白檀中学校区住民	76
合 計			125

▽かしはら街の介護相談室との情報共有や連携を図り、総合相談支援業務等の円滑かつ効率的な対応に取り組む。

かしはら街の介護相談室（南圏域）（令和6年4月～9月）

小学校区	事業者名	小学校区	事業者名
鴨公	大和三山	(旧)白樫南	桃寿園
香久山	香久山インパレス	(旧)白樫北	ぼれぼれケアセンター白樫
畝傍東	大和三山	金橋	かなはし苑
畝傍南	樫原園	新沢	西井クリニック
畝傍北	あすならホーム畝傍		

かしはら街の介護相談室（南圏域）（令和6年10月～令和7年3月）

中学校区	事業者名	中学校区	事業者名
八木（南）	香久山インパレス	白樫	桃寿園
畝傍	あすならホーム畝傍	光陽	西井クリニック

▽かしはら街の介護相談室事業評価に係る調査の実施

対象 かしはら街の介護相談室を受託する4法人

期間 2月18日、2月20日

▽地域包括ケアシステムの実現を目指し、研修会の開催や情報の共有などの連携を図るため、ランチ連絡会を開催する。

ランチ連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
4月16日	令和6年度の業務について 他	36
10月15日	新体制での業務実施について	26
	合 計	62

（3）権利擁護業務

▽成年後見制度の利用促進のため、樫原市権利擁護支援地域連携ネットワークの中核機関として、相談対応や、必要に応じ後見人等候補者の調整などを行う。また、樫原市や関係機関との連携を密にし、高齢者虐待の早期発見と早期対応を行うことで高齢者虐待の防止を図る。

相談状況

	虐待	権利擁護	合計
延対応件数	228	49	277
実人数	18	23	41

※延対応件数は、前述の総合相談支援業務の相談状況の件数を再掲

▽支援困難事案の情報を共有し解決に向けた検討や、高齢者虐待事案に対する判定を目的に会議を開催する。

支援困難ケース検討会議・高齢者虐待判定会議実施状況

名 称	回数
支援困難ケース検討会議・高齢者虐待判定会議	12

（4）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

▽包括的・継続的な支援体制の構築や地域におけるケアマネジャーのネットワークの構築を行う。また、地域のケアマネジャーが抱える支援困難事案等への相談支援・助言を行う。

▽居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象に研修会を実施する。

ケアマネジャー支援研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
6月20日	内容 認知症の理解と支援～ケアマネジメントで大切なこと～ 講師 社会医療法人平和会 地域包括ケア推進事業部 奈良市認知症地域支援推進員 <small>みはら ゆき</small> 三原由紀 氏	78
12月17日	内容 生活の幅を広げるためのおむつの選び方 ～排泄について考えよう～ 講師 ユニ・チャーム株式会社 営業本部 <small>くろだ ひであき</small> 黒田英明 氏	38
合 計		116

(5) 在宅医療・介護連携推進事業

▽医療機関や介護サービス事業者などの関係者との連携を図り、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、橿原市と協働して地域の医療・介護サービス資源の把握や地域住民への普及啓発に努める。

▽専門職のスキル向上や地域の専門職間のネットワークづくりを目的に、中学校区域で「多職種交流勉強会」を開催（参加）する。

多職種交流勉強会実施状況

名 称	回数	延参加者数	備 考
多職種交流勉強会	1	48	地域包括支援センター開催
	4	75	かしはら街の介護相談室開催

(6) 生活支援体制整備事業（第2層）

▽生活支援等サービスの提供体制の構築に向けて、日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置する。

▽第1層の生活支援コーディネーターとの連携を図り、地域の現状や課題を地域住民や関係団体等と共有するとともに、解決に向けた話し合いのため、日常生活圏域で「生活支援地域ケア会議」を開催する。

生活支援地域ケア会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
生活支援地域ケア会議	8	114

▽地域課題等を整理した町アセスメントシートを作成し、地域住民や関係団体等と共有する。また、高齢者にとって日常生活に役立つ地域資源に関する情報を整理したリストやマップを作成・更新し、地域住民への周知や活用促進を図る。

- ・買い物支援サービス実施店
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗

(7) 地域ケア会議

▽専門職等がケアマネジメントのプロセスに関与し、多職種において課題及び背景・原因の分析をより深め、要支援者等の自立支援の検討のため、市全域で「自立支援地域ケア会議」を開催する。

▽ケアマネジャーや地域住民等から報告される個別の支援困難事案の解決に向けた検討や、地域の支援体制の構築のため、「個別レベル地域ケア会議」を開催する。

地域ケア会議実施状況

名 称	回数	検討件数
自立支援地域ケア会議	2	4
個別レベル地域ケア会議	4	4

認知症総合支援事業（4, 154, 845円）

（1）主な収支状況

市受託金	4, 000, 000円（収）
介護予防支援事業から繰入	154, 845円（収）
嘱託職員人件費	3, 558, 967円（支）
地域包括支援センターシステム保守料等	90, 587円（支）
事務所使用料	146, 366円（支）
その他認知症関係事業費	358, 925円（支）

（2）認知症地域支援推進員の配置

▽地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（認知症の専門相談員）を配置し、認知症疾患医療センターやかかりつけ医と連携することで、医療と介護の切れ目のないサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う。

相談件数 987件（実人数75名）

▽認知症に関する啓発活動を実施する。

実施状況

実施期間等	内 容	場 所
9月1日～29日	認知症に関する図書の展示	橿原市立図書館
9月21日	世界アルツハイマーデーに認知症に関するチラシを配布	近鉄大和八木駅前
10月	認知症便利帳の発行（5,000部）	—

（3）認知症初期集中支援チームの設置

▽認知症の早期診断・早期対応を促進するため、複数の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを設置する。認知症初期集中支援チーム医と連携し、適切な支援につながっていない認知症の人やその家族への早期診断・早期対応に向けた支援を行う。

相談件数 0件（実人数0名）

認知症初期集中支援チーム員会議実施状況

名 称	回数	検討件数
認知症初期集中支援チーム員会議	0	0

（4）地域住民対象の講座の開催

▽認知症の人やその家族を地域で見守り、支援するため、講座を開催する。

地域住民対象の講座開催状況

開催日	内 容
10月19日	市民公開講座（主催 一般社団法人橿原地区医師会） テーマ 医療と介護の連携 認知症になっても安心して暮らせるように

(5) オレンジカフェの開催

▽認知症の人やその家族が集まって、悩みを話したり、介護の情報を得たりする交流の場として「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催する。

オレンジカフェ開催状況

名称	回数	延参加者数	開催日時
オレンジカフェ	12	159	第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分

介護予防支援事業

介護予防支援事業（13,895,636円）

▽指定介護予防支援

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス・支援計画を作成するとともに、その計画に基づく介護予防サービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。また、公正中立なケアマネジメントの確保や平時から医療機関との連携に努める。

▽第一号介護予防支援

要支援者や近い将来要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者が、介護予防及び生活支援を目的に、心身の状況等に応じて適切な事業が提供されるよう、介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、その計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	6,179,020円〈収〉
総合事業収入	4,334,776円〈収〉
社会福祉事業（地域福祉活動支援事業）から繰入	12,229,220円〈収〉
一般職員、嘱託職員人件費	5,984,883円〈支〉
介護予防支援システム保守料等	271,761円〈支〉
事務所使用料	292,732円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	699,061円〈支〉
包括的支援事業に繰出	6,387,454円〈支〉
認知症総合支援事業に繰出	154,845円〈支〉

(2) 実施状況

委託契約事業所件数 56件（令和7年3月31日現在）

介護予防サービス・支援計画作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	17	17	15	547	562	579
5月	4	19	23	7	559	566	589
6月	6	22	28	17	566	583	611
7月	7	31	38	10	567	577	615
8月	4	39	43	12	545	557	600
9月	6	59	65	12	532	544	609

10月	5	79	84	8	530	538	622
11月	4	89	93	15	510	525	618
12月	7	98	105	7	513	520	625
1月	9	101	110	8	502	510	620
2月	8	118	126	12	484	496	622
3月	8	123	131	9	495	504	635
合計	68	795	863	132	6,350	6,482	7,345

介護予防ケアマネジメントA作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	17	17	19	313	332	349
5月	2	16	18	6	322	328	346
6月	8	21	29	14	318	332	361
7月	3	27	30	8	318	326	356
8月	4	33	37	10	319	329	366
9月	2	49	51	10	318	328	379
10月	6	54	60	13	309	322	382
11月	6	57	63	7	315	322	385
12月	4	61	65	8	301	309	374
1月	10	60	70	4	300	304	374
2月	6	73	79	5	294	299	378
3月	2	71	73	4	290	294	367
合計	53	539	592	108	3,717	3,825	4,417

介護予防ケアマネジメントB作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	5	5	0	5	5	10
5月	0	5	5	0	3	3	8
6月	0	5	5	0	4	4	9
7月	0	5	5	1	4	5	10
8月	1	5	6	0	4	4	10
9月	1	6	7	0	4	4	11
10月	0	7	7	1	3	4	11
11月	0	7	7	0	3	3	10
12月	2	7	9	1	3	4	13
1月	0	9	9	0	5	5	14
2月	0	9	9	0	3	3	12
3月	0	9	9	0	4	4	13
合計	4	79	83	3	45	48	131

(注釈)

サービス区分名

事業名(決算額)

決算額には、拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))における当該事業の事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支のそれぞれの支出額の内部取引消去前の合計額を記載

〈収〉は収入

〈支〉は支出